



2020年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <https://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 富山 英朗

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	12,936	4.2	1,371	24.5	1,816	9.3	1,245	9.2
2019年6月期第3四半期	13,501	13.9	1,817	6.6	2,002	7.8	1,372	5.5

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 920百万円 (6.3%) 2019年6月期第3四半期 981百万円 (30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	432.16	
2019年6月期第3四半期	475.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	36,229	31,542	87.1
2019年6月期	38,881	31,488	81.0

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 31,542百万円 2019年6月期 31,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		300.00	300.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)				300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	5.5	2,100	17.6	2,400	12.5	1,700	8.2	589.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期3Q	3,230,701 株	2019年6月期	3,230,701 株
期末自己株式数	2020年6月期3Q	347,683 株	2019年6月期	347,642 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期3Q	2,883,026 株	2019年6月期3Q	2,883,096 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年10月からの消費税増税にはじまり、暖冬の影響もあり景気が悪化したところに新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が加わり、経済活動が大きく停滞し、極めて厳しい状況が続いております。また、東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定されたことにより、経済への直接的な影響だけでなく、心理的な閉塞感が拡大し、消費マインドの更なる冷え込みも懸念されております。ユニフォーム業界においても、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中国や東南アジアの生産委託工場が一時操業停止となり、一部商品において納期遅延が発生いたしました。日本国内においても、製造業における工場の一時閉鎖、土木・建設業における工事中断などの事業活動の縮小や、休校により高校・大学などの実習服の発注が先送りになるなど、ワークウェアの更新需要は一時的に延期する傾向にあります。また、影響の長期化・常態化も懸念され、先行きは非常に厳しい状況となることが見込まれます。

このような状況のもと当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最前線で尽力しておられる医療従事者はもちろんのこと、巣ごもり消費を支える運送業者や、マスクや医療用ガウン、消毒液など、新型コロナウイルス対策商品の製造現場で働く人など、新型コロナウイルス感染症拡大防止に携わる全ての人に、ワークウェア、医療・介護ウェア、セーフティシューズを安定供給し活動を支援する、という使命感を持って事業活動を行ってまいりました。

ワーキングウェア事業においては、戦略的に積み増した豊富な在庫を武器に積極的な営業活動を展開し、売上・利益の拡大に努めてまいりました。基幹ブランド「Jichodo(ジチョウドウ)」、次世代戦略ブランド「Jawin(ジャウィン)」、世界戦略ブランド「Z-DRAGON(ジードラゴン)」の主要3ブランドを中心に、それぞれのブランドコンセプトに基づき、ユーザーが求める高機能商品を市場に展開することで、需要の喚起とシェア拡大を図ってまいりました。また、販売代理店やユーザーの皆様の利便性向上のために導入した電子カタログを積極的にPRし、活用を促すことにより、販売代理店の営業活動をサポートし、受注拡大に努めてまいりました。フットウェア分野においては、「Z-DRAGON(ジードラゴン)」ブランドのイメージキャラクターである俳優の市原隼人氏のビジュアルを有効活用して、売上・利益の拡大を図るとともに、法人需要の受注強化に取り組んでまいりました。医療・介護ウェア分野においては、前述のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止への支援として商品の安定供給に努めるとともに、販売力のある取引先との取組強化に注力してまいりました。

生産面におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生産を委託している中国の協力工場が一時閉鎖され、一部商品において納期遅れが発生しましたが、戦略的に積み増していた豊富な在庫により販売機会ロスはほとんど発生しませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、暖冬の影響や3月期決算の法人需要の延期等により売上が伸び悩んだことに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が出始めたことにより、売上高は12,936百万円(前年同四半期比4.2%減)となりました。営業利益については、原材料費のコストアップや在庫積み増しによる物流経費の増加などにより、1,371百万円(前年同四半期比24.5%減)となりました。経常利益は、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によるデリバティブ評価益や有価証券売却益が前年同四半期に比べ大きく増加したことなどにより、1,816百万円(前年同四半期比9.3%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,245百万円(前年同四半期比9.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,651百万円減少し、36,229百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,284百万円減少し、26,435百万円となりました。これは主に、商品及び製品が2,178百万円増加したこと、現金及び預金が792百万円、受取手形及び売掛金が1,902百万円、原材料及び貯蔵品が1,017百万円、流動資産その他が753百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ367百万円減少し、9,794百万円となりました。これは主に、投資その他の資産その他が227百万円増加したこと、投資有価証券が586百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,685百万円減少し、3,466百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,090百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が3,161百万円、未払金が115百万円、未払法人税等が375百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、1,220百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、31,542百万円となりました。これは主に、利益剰余金が381百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が309百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を踏まえ、2020年2月14日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,358	1,166,794
受取手形及び売掛金	5,687,979	3,785,749
商品及び製品	16,130,558	18,308,819
仕掛品	4,461	4,111
原材料及び貯蔵品	3,662,094	2,644,369
その他	1,281,647	528,626
貸倒引当金	△6,247	△3,036
流動資産合計	28,719,853	26,435,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,598,083	1,527,481
土地	4,421,844	4,461,795
その他(純額)	139,374	130,178
有形固定資産合計	6,159,302	6,119,455
無形固定資産	132,183	102,401
投資その他の資産		
投資有価証券	2,418,058	1,831,131
関係会社出資金	130,225	108,320
繰延税金資産	139,286	231,575
その他	1,235,452	1,462,810
貸倒引当金	△53,282	△61,566
投資その他の資産合計	3,869,739	3,572,271
固定資産合計	10,161,225	9,794,128
資産合計	38,881,078	36,229,562

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,975,462	1,813,681
未払金	310,347	195,314
未払法人税等	490,993	115,779
返品調整引当金	62,245	40,510
賞与引当金	136,419	69,012
短期借入金	—	1,090,000
その他	176,243	142,258
流動負債合計	6,151,713	3,466,556
固定負債		
退職給付に係る負債	570,308	575,391
その他	670,974	644,661
固定負債合計	1,241,282	1,220,052
負債合計	7,392,996	4,686,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,828,530	1,828,530
利益剰余金	27,612,023	27,993,046
自己株式	△1,716,764	△1,717,059
株主資本合計	30,706,288	31,087,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	770,924	461,605
為替換算調整勘定	△19	△12,483
退職給付に係る調整累計額	10,889	6,815
その他の包括利益累計額合計	781,794	455,936
純資産合計	31,488,082	31,542,953
負債純資産合計	38,881,078	36,229,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	13,501,668	12,936,279
売上原価	9,189,513	8,971,197
売上総利益	4,312,154	3,965,081
販売費及び一般管理費	2,494,892	2,593,700
営業利益	1,817,262	1,371,381
営業外収益		
受取利息及び配当金	40,294	39,452
為替差益	78,027	9,185
有価証券売却益	10,086	153,364
受取賃貸料	46,910	59,387
デリバティブ評価益	—	166,796
その他	47,272	54,414
営業外収益合計	222,591	482,601
営業外費用		
賃貸収入原価	27,260	25,431
デリバティブ評価損	10,098	—
持分法による投資損失	—	9,441
その他	342	2,679
営業外費用合計	37,700	37,553
経常利益	2,002,153	1,816,429
特別損失		
固定資産除売却損	7,896	0
特別損失合計	7,896	0
税金等調整前四半期純利益	1,994,256	1,816,429
法人税、住民税及び事業税	576,493	525,568
法人税等調整額	45,425	44,920
法人税等合計	621,918	570,488
四半期純利益	1,372,337	1,245,941
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,372,337	1,245,941

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,372,337	1,245,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△385,969	△309,319
為替換算調整勘定	—	△12,463
退職給付に係る調整額	△4,785	△4,074
その他の包括利益合計	△390,755	△325,857
四半期包括利益	981,582	920,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	981,582	920,083

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。